

《神奈川-3 大山トレッキング&野点体験ツアー》

項目	内 容	説 明
ツアー名	大山トレッキング&野点体験ツアー (大山登山、阿夫利神社参詣、足柄茶やコーヒーの野点)	・東京郊外、都心から2時間以内で到達できる自然・歴史・文化あふれる観光地 ・トレッキングとアウトドア喫茶で心身をリフレッシュ
対象・目的	◎アドベンチャーツーリズム ◎持続可能な観光(SDGs)	・「自然とのふれあい」 ・「文化交流」 ・「フィジカルなアクティビティ」の3要素を含む
参加条件	・登山者としては、初級向けレベル3 ・トレッキング愛好者 ・登山歴はなくても、ジョギング・サイクリング等フィジカルなスポーツ習慣を持つ者 ・服装規定を守る者	・雨具、昼食、ドリンクなどの装備を入れた7キロ程度のザックを各自持参すること ※昼食については、道中の店で食べることも想定
ツアーの出発地 交通機関	・小田急線新宿駅集合 ・交通(ロマンスカー) 新宿駅 7:15→伊勢原駅 8:08 快速急行・急行は多数運行	◎代替交通機関 ・東名ハイウェイバス (東京駅八重洲口→伊勢原バス停) ・JR 東海道線で平塚駅下車、バス利用 ※伊勢原駅集合コースも設定可能
ツアーコースの概略	・伊勢原駅からバス+ケーブルカーで大山阿夫利神社へ ・そこから山頂を往復(昼食と休憩を含めて約5時間) ・途中、山頂や見晴台で昼食、野点休憩 ・15~16時に伊勢原駅で小田急線に乗せ込んで解散	・大山(標高1252m)は、古くから山岳信仰の対象として知られ、江戸時代には近郊の行楽地として数多くの方が信仰登山に訪れた。 ・大山阿夫利神社の祭神「大山祇大神」は、富士山本宮浅間大社の御祭神「木花咲耶姫」の父親であり、江戸時代には両者を参詣する「両詣り」が大流行した。 ・ゴッホ「タンギー爺さん」には、歌川広重の「富士三十六景」の相模川が描かれており、その背景に富士山と大山が描かれている。 ・神奈川県の特産品「足柄茶」は関東大震災の復興として栽培が始まり、丹沢・大山から箱根にかけての山麓で栽培されている。 ・大山は「雨降山」(雨乞いの山)として知られているが、実際丹沢・大山山麓は雨や霧が多く、また土壌も水はけが良いためお茶の栽培に

		適している。
交通費	2520 円 (丹沢大山フリーパス)	各自支払い 又はツアー料金に組み込み
入館料	なし	なし
オプションツアー	吉川醸造 (日本酒テイスティングと買い物)	・市内唯一の酒蔵。最近経営者が代わり、新ブランド「雨降」(大山の別名)を立ち上げた。フランスの酒コンクールで好成績を収めるなど頑張っている。 ※大山からの公共交通の便が悪いことが課題。
	宿坊での手作り豆腐体験と夕食	・大山は江戸時代から豆腐が有名。湧水の硬度がやや高いため食感がしっかりしている。 ・豆腐はヘルシーフードとして欧米でも知名度が高まっている。
希望ツアー料金	20,000 円	
最小催行人数	2 名	※最大 4 名
希望ガイド料	基本料金 16,000 円	・お客様 2 名まで ・お客様 1 名追加ごとに 4000 円追加
協力者の募集の有無	募集する	・協力者としては、登山経験があること。 ・体力に自信があること。
TJT への希望	・ツアーづくりの助言 ・山岳に関する研修の実施 ・プロモーション用の動画の制作	

以下の写真は全て自ら撮影したものです。



伊勢原市内から望む大山、丹沢山系、富士山



大山山頂



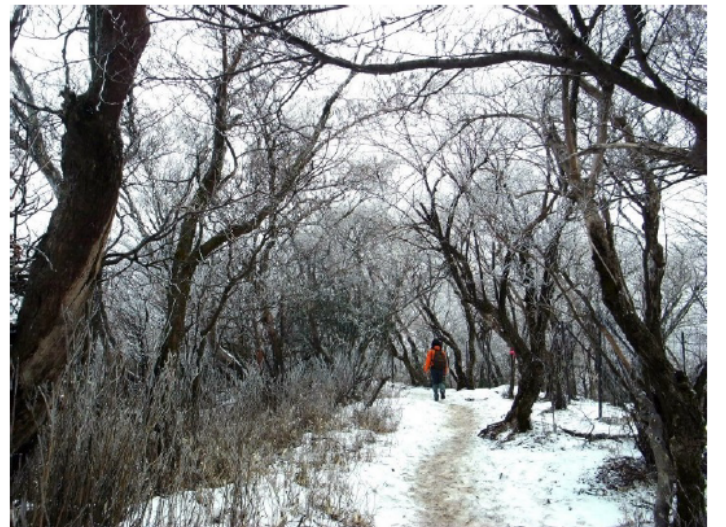
山頂からの眺望（相模湾方面）



大山阿夫利神社



紅葉（阿夫利神社付近）



冬の霧氷



吉川醸造



吉川醸造の日本酒「雨降」

マップ

出典：大山ケーブルカーウェブサイト

<https://www.ooyama-cable.co.jp/map/>



(参考) お茶・コーヒーの野点体験について

- ・ツアーでは、地元産の足柄茶を基本としつつ、お客様の要望に応じてコーヒーに対応することを想定しています。
- ・阿夫利神社でゲストと一緒に「大山名水神泉」を汲み、道中の眺望が良い場所（山頂、富士見台、見晴台など）でお茶又はコーヒーの野点を行います。
- ・山でコーヒーを淹れることは慣れており、これまで槍ヶ岳など北アルプス、丹沢・大山、各地のキャンプ場など、様々な場所でコーヒードリップを楽しんできました。
- ・二年前の足和田山トレッキングガイド（オランダ人VIPグループ）の際、サプライズで山腹の展望台でコーヒーを淹れたところ、非常に感激されました。
- ・お茶についても、アウトドア用の急須や茶器を保有しており、足柄茶の緑茶、ほうじ茶、紅茶を購入し、外での美味しい淹れ方を研究しています。

以上